

宮陵会報 2010・12

Kyu-Ryo

No.91

発行責任者
 社団法人 宮 陵 会
 広報委員会

〒221-0802
 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
 神奈川大学内
 TEL 045-481-5661
 (内線 2451~3)
 FAX 045-413-0791
 印刷所 株式会社 江森印刷所

第16回

神奈川大学ホームカミングデー あなたも自宅でホームカミングデー



【点線を全て向かって内側に折ってください。(▲はノリシロ)】



【*注意1:ハサミ等で切り取る時は手を切らないようご注意ください。】【拡大カラーコピーでリアルに再現可能。】
 【*注意2:小さなお子様がお作りになる場合は必ず保護者様とご一緒にお楽しみ下さい。】

Contents No.91

会長挨拶.....	2
茅ヶ崎・寒川支部立ち上げ.....	2
大学ニュース・他.....	3
常民文化研究講座記事他.....	4
本部だより.....	4

2010(平成22)年10月17日(日)第16回ホームカミングデーが今年も盛大に行われた。「学校主催のホームカミングデーは毎年10月に行われ、参加費が無料のため気兼ねなく参加でき同窓に関わらず同じ学舎にいた卒業生達(御家族での参加可)との良い交流の場として活用していただいています。」
 式典では理事長・学長・在校生代表挨拶・鏡開きが行われ宮陵会会長の乾杯で幕が開かれた。今回は前日(16日)に行われた第87回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会の結果総合8位で2年ぶり念願の箱根駅伝出場が決まり参加された卒業生は箱根への期待感で話が盛り上がっていた。

秋の諸行事を終えて

宮陵会会員の活躍に感謝

宮陵会会長 狩野 七郎



今年のはあの熱かった夏から短い秋をへて、すぐ冬を迎えた感があります。宮陵会会員10万余人は全国津々浦々におられ、それぞれ地域ではなくてはならない人になっておられます。ご活躍の報を受け宮陵会本部でも嬉しい限りです。秋のホームカミングデーには沢山の方がお出でくださいました。この日にあわせクラス別やゼミ別、あるいは部活、この同期会が年々増えてきているのもたのしく思っています。このような催しをご活用頂きたいと思えます。また全国各地でブロック会議が開かれその都度、学校からも理事長または学長が出席され学校の近況など詳細にお話され、つねに宮陵会の協力を期待されています。

現在の社団法人である宮陵会をどんな組織にするか、の検討もまもなく方向付けを決するところまで来ました。大学の新たな奨学金制度も機能して大きな支援となつていきます。一方、学校法人では校舎の建て替え計画が発表されました。あらたな成長発展にむけ積極的な計画を実行しています。また数々の体育会からの優秀な成績はそれを裏付けるものでもありません。

みなさまも新聞紙上などでご承知と思います。箱根駅伝の出場が決定しました。お正月には浴道で、お茶の間で、それぞれのお立場で母校へのご声援をよろしくお願い申し上げます。

■茅ヶ崎・寒川支部

支部結成後、初の箱根駅伝の応援

今年一月に茅ヶ崎・寒川支部が誕生しました。(会長 石井 昭氏)その発会式には、60余名が参加し、茅ヶ崎市服部市長もお祝い



に来てくださいました。茅ヶ崎市と言えば、加山雄三、サザンの桑田佳祐を輩出した湘南を代表する地。一方の寒川町は勇壮な御輿の浜降祭で有名な寒川神社を起点とした街として知られています。この2地域が合体して支部を結成しました。

硬式野球部

神宮に感動の渦が

沸き起ころ!!

硬式野球部が第6回関東地区大学野球選手権大会で流通経済大学に勝利し、第41回明治神宮野球大会に7年振り7回目の出場を果たしました。

成しましたが、そのきっかけは、箱根駅伝の応援でした。以前から茅ヶ崎市の134号線の浴道で、市職員らを中心に熱心に応援してきましたが、年々、応援者が増えてきたことで、支部設立の気運が高まり、結成に至りました。会員の中には遠い昔に選手として走ったOBが2名いることで、駅伝に関しては、一層力が入ります。事務局長の永田輝樹氏は「やはり箱根駅伝の応援があつて団結できるわけで、昨年の予選会落ちでは、皆さん正月をどう過ごしているのか困ったようでした。来たる正月は、幸い出場が叶い、支部として、初めて迎える駅伝なので、精一杯の応援を繰り広げたいです。沢山の神大OBが集結してくれる

心理相談センターから

心理相談センターは、二〇〇九年四月、大学院人間科学研究科開設時に、臨床心理に関する教育・研究および地域住民に対する心の相談を目的に附置されました。企業人のうつ病や子どもの不登校・発達相談、対人関係や生活についての悩みなど、経験豊富なスタッフを揃え、有料にて相談者の解決に向けた支援をいたしております。

(問い合わせ) 〇四五―四八一―二七三三

神奈川スポーツ賞を受賞

本学OG 坂下 泰子さん
(2009年度人間科学部卒)
ショートトラックで
2年連続優勝!!




今年1月、北海道で開催された第65回国民体育大会冬季大会のスケートショートトラック成年女子500mで2年連続優勝。これにより先月、神奈川県から「神奈川スポーツ賞」を受けました。

相模原のスケートクラブで小学4年からスケートを始め、神奈川大学入学後、頭角をあらわし日本のトップスケーターとして活躍。

卒業後は神奈川大学の健康科学スポーツセンター所属として、スケート部テクニカルアドバイザーに就任。今後W杯等でさらなる活躍が期待されます。

今後硬式野球部の活躍を祈念し、熱いご声援をお願いいたします。



第12回 神大フェスタ「フェスタ維新」

台風の影響で1日のみ開催となり10月31日(日)曇天ではあったが盛大に開催された。

模擬店は例年にも増して学生の売り子さんの声が響きわたり、売り上げ増? 各ゼミの発表も充実していたように思われた。おしむらくはもう少し見学者が多いと研究発表者もより励みになるのでは…バンド演奏やグラウンドでの親子のゲームなどお楽しみも多秋の1日が暮れた。

こんな楽しいイベントに年々参加者がふえていくよう卒業生や地域の方々に来年はもっと参加を呼びかけよう!



第22回 平塚祭「CIRCLE~キズナ~」

第22回平塚祭CIRCLE~キズナ~は、10月23日(土)24日(日)の2日間で開催された。音楽が鳴り響き、サークル団体や研究室が開き、模擬店から良い匂いを漂わせる中スタートした平塚祭は、2日間で来場者数が3,300名となり、昨年の来場者を1,000名以上も上回った。

両日中、平塚祭実行委員による企画や一般企画が盛り込まれ、本学学生を始めとした、受験生、近隣住民の方々、OB・OGが楽しめる大学祭となった。特に23日には毎年恒例の花火大会で見事な花火に歓声があがり、24日にはお笑いライブで会場全体が笑いにつつまれ大成功を収めた。



祝 空手道部創部70周年 記念式典開催される

2010年11月6日(土) 神奈川大学空手道部は創部70周年を記念し、記念稽古ならびに記念式典が行われた。

近年、格闘技を敬遠する学生が多い。空手道部でも新入部員を思うように確保できないという現状はあるが、先輩が培ってきた伝統を後世に繋げられるよう現役部員の活躍を期待したい。

手道連盟傘下の関東一部リーグでの活躍を続けている。記念式典に先立ち行われた記念稽古には、現役部員とOB・OG約40人が参加し、移動や対人での打ち込みなど基本的な稽古で汗を流した。終盤では、現役部員とOB・OGとの交流戦や演武・板割りが行われ、その迫力に会場は大いに盛り上がった。

続いて行われた記念式典では関係者など約90名が参加、OB会を代表し中山武志OB会長(昭41年・賀卒)より「多くのOBや関係者の皆さんに支えられ、神大空手道部が創部70周年を迎えられたことに感謝と誇りを感じる。また、この70周年を基盤とし、更なる空手道部の発展につなげたい。」と挨拶が述べられた。

箱根駅伝予選観戦記

手に入れた箱根への「切符」

10月16日、昭和記念公園にて、選考レースが行われ、前日から泊り現地入りした。AM7:00と、前年より30分早く集合したが、既に各校が陣取りをしていて、各校の意気込みを肌で感じた。手塚体育振興委員長、西多摩支部長、宮陵会芸員、学生が集まり、例年以上の活気があった。今回ほど心配な予選会は無かった。昨年の予選に落選し、今回落ちたら終わりという思いだったからだ。今まで以上の他校を圧倒する応援の人数、6月に行われた全日本大学駅伝予選8位の気合と粘りの走りは、不安を消す材料になった。

走り終えてから、発表まで本当に長く感じた。みんなが祈るように結果を待った。第8位神奈川大学のコールがあり、夢へのキープを手に入れた。ハラハラ、ドキドキのレースだったが、無事通過、みんなが喜び、歓声が沸いた。ふと見ると、涙ぐむ選手もいた。敗戦、改革まで、一年余り、よく復活してくれた。試練がチームを強くしたとの、大後監督の言葉、これからも、一歩、一歩、地道に頂点を目指すとの決意に、今後の期待感を持たせた。努力をする姿は美しい。まして後輩達の頑張る姿を見て、感動はひとしおだ。

来年の正月は、箱根駅伝を応援できる。楽しみに、幸せを感じる。当日、応援に参加した中島学長は「今後、大学三大駅伝の常勝校をめざすためにさらなる支援をしていく」という力強いコメントがあった。我々OBにとっても、敗戦から学び、コーチ陣の充実を図り、選手を鍛え、地道に立て直した我が母校の復活が最高のドラマだ。後輩達を誇りに思う。

昨年、学連選抜で箱根を走った森本、染谷選手が試合後、沿道での声援に勇気づけられた応援は一生忘れないという試合後のコメントを思い出した。やはり選手には、我々の応援が必要だ。本戦では、学生、OBが力を合わせ、温かい応援をしよう。

いざ出陣、予選会史上最高の集客と盛り上がりの中スタート。気温は高い、大丈夫だろうかと、やはり緊張する。スタート5km通過順位、2位と順調な滑り出し。15km通過は6位と、失速は更に不安をおおった。神大10人のゴール到着順位は10位、アドバンテージタイムが30秒しかない、神大には非常に厳しい状況だ。ひよっとしたら、駄目かもしれないと不安がよぎった。全ての選手が

(永田晴彦 昭58賀卒)

峯村亮選手(神大職員) 国体2010にて見事初優勝!!

10月3、4日に行われた“ゆめ半島千葉国体2010”において、神大職員の峯村亮選手は、レスリング成人グレコローマスタイル55kg級で見事初優勝を果たした。

今回の優勝について峯村選手は、「正直嬉しいです。2位3位と勝てない時期が続いていたので、このままではオリンピックでメダルを取ることが遠いと感じていましたが、国体直前まで単身でトルコへ1カ月の武者修行をした成果が出たと思います。12月末には世界選手権(オリンピック代表選考の大会)の1次選考を兼ねる天皇杯があるので、そこでの優勝を目標に再度トルコで修行してきます。」と語る。

峯村選手の更なる活躍に期待したい。



遠野から日本・アジア・世界へ

「第十四回常民文化研究講座」本校を離れ、遠野市で開催される

岩手県遠野市(市長:本田敏秋氏昭45法卒)は「民話の里」として全国的に有名な市です。「遠野物語発刊100周年」節目の今年、十一月六日(土)に神奈川大学日本常民文化研究所・遠野市共催、神奈川大学校友会岩手支部協力による「第十四回常民文化研究講座」が初めて本校を離れて、遠野市という遠隔地で開催されました。

会場のあえりあ遠野には全国から参加した研究所の会員や岩手支部会員、遠野市の一般市民等一二〇名を超える人数が会場を埋め尽くしました。

テーマは「遠野から日本・アジア・世界へ」で同所の福田アジオ教授の基調講演(世界民俗学構想と『遠野物語』)や三人の先生による遠野物語に因んだ研究発表がなされました。

岩手支部では本田敏秋遠野市長をはじめ遠野市在住のOBを中心に遠野市文化政策部と協力体制を構築し会場準備や動員等のお世話をさせていただきました。

同講座の開催は①大学及び研究所の存在感を発信できました。②多くの研究所の会員が



左から 遠野市長 本田敏秋氏/神奈川大学日本常民文化研究所 所員・経済学部教授 田上 繁氏/神奈川大学日本常民文化研究所 所長・経済学部教授 佐野賢治氏/神奈川大学副学長 池上和夫氏

全国から遠野を訪れ「民話の里とおの」紅葉の遠野路を満喫しました。③結果、遠野市の経済活性化の一助となりました。④岩手支部会員が久しぶりに大学の講義を聴講できました。⑤三〇、〇〇〇人程度の遠野市にも地域で活躍している同窓生が沢山いることに一般市民から評価されました。などなど大きな収穫に繋がったものと確信しています。

研究所には多種多様な民俗学を多くの先生が日々研究していて、それぞれの地域と関わりのある研究課題があるはずで、各県支部の協力で「出前講座」が引き続き開催されることを期待しています。

講座終了後「交流会」が開催され、地酒や特産品で会話や弾み、終宴には本田市長による神大逍遥歌、全員で校歌を高らかに斉唱しました。

文責:神奈川大学校友会岩手支部幹事長 宮澤 俊次(昭48経卒)

酷暑のなかの快挙!! 学生トライアスロン選手権大会 香川支部からの報告

9月12日、香川県観音寺で2010日本学生トライアスロン選手権大会が開催された。男子の部で石塚祥吾選手(法3年)が総合第2位と大健闘した。来年は優勝をはたすうちから強い言葉がきかれた。また女子では田中洋子選手(43歳)が完走をはたし活躍した。彼女は教員資格取得を目指し神大で学んでいる。香川支部ではいまま来年(観音寺会場)の応援体制を検討している。

最終講義のお知らせ

左記の先生方が、今年度定年をお迎えになります。広報委員会では、ぜひ恩師の最終講義を聴講したいという皆様のため情報を収集しています。

一月下旬頃に各学部とも予定が決まりますので、一月末日以降、宮陵会事務局にお問い合わせください。

- ◆法学部 西尾 孝司 教授
- ◆経済学部 沢田 幸治 教授
- ◆経営学部 松岡 紀雄 教授
- ◆外国語学部 福田アジオ 教授
- ◆人間科学部 矢野 博 教授
- ◆人間科学部 五日市享児 教授
- ◆理学部 羽鳥 尹承 教授
- ◆理学部 森 和亮 教授
- ◆工学部 北岡 正敏 教授
- ◆工学部 堀野 定雄 准教授
- ◆工学部 寺尾 道仁 教授

最近の新聞記事から抜粋

- ▼平塚市と神奈川大(平塚キャンパス)連携20年交流(エコ大学構想紹介も)平塚市長をまじえ記念式平塚キャンパスで開催。世界最高峰制覇の山岳部宮守元主将の講演も同時に(神奈川新聞)
- ▼育成ドラフトで北野洗貴選手(人間科学4年)ヤクルト1位指名(産経新聞ほか)
- ▼スピードスケート・ショートトラックW杯代表に、坂下泰子(神奈川大職員)
- ▼齊藤仁美(人間科学2年)(産経新聞)
- ▼参議院常任委員長(厚生労働)に津田弥太郎氏(昭51法卒)(東京新聞)
- ▼国会対策委員長代理(民主党)に斎藤勁氏(昭44法卒)(日本経済新聞)
- ▼「遠野物語」誕生の場所(東京都新宿区)にて記念碑除幕式、遠野市の本田敏秋市長(昭45法卒)出席(東京新聞)
- ▼茨城県弁護士会会長に秋山安夫氏就任(昭47年法卒 茨城支部)(朝日新聞)
- ▼大田哲哉広島商工会議所会頭(昭38電卒)

広島県中小企業応援センターで創業・経営革新の支援を開始

▼李相日(リ・サンイル)(平8経卒)「悪人」映画監督、深津絵里さん主演でモントリオール世界映画祭で最優秀女優賞(産経新聞)

▼佐々木健児氏(昭50法卒)大一社長就任(電子部品梱包材の製造)(日刊工業新聞)

▼佐藤雄平氏(昭45経卒)が福島県知事に再選(福島民友新聞社)(2010年11月9日現在)

本部だより

新支部長紹介

- 神奈川大学アメリカンフットボール部 OB会支部 平8賢卒 梶本 亮
- 静岡西部支部 昭48法卒 中村 久仁茂

謹んでお悔やみ申しあげます

下山 貞明(殿)(23経) 顧問・代議員
(二〇)副会長・理事・代議員会議長
平成22年9月4日ご逝去

編集後記(情報提供願ひ)

「宮陵」は神大卒業生への広報誌です。広報委員会でも情報収集に力をいれていますが限界があります。どうか全国の卒業生、関係者のみなさま「情報」の提供をよろしく願ひします。OBの活躍は在学生にも勇気と希望を与えるものと思います。こよなく神大を愛する皆様へ紙面づくりに広報委員会からお願いです。

【宮陵会事務局】

〒222-110802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学内
FAX 045-413-0791